

# コンクリートのひび割れ調査，補修・補強指針 2022 正誤表

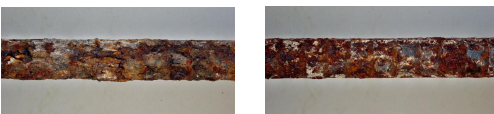
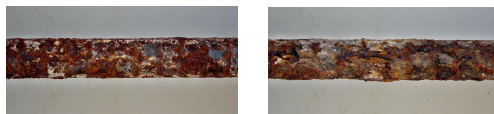
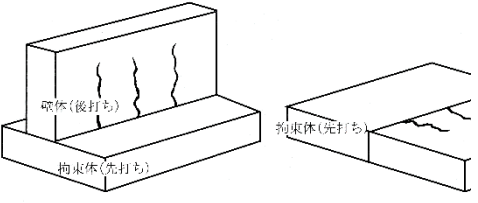
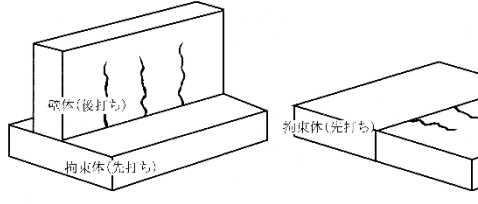
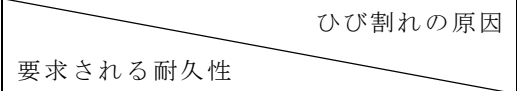

2022年7月1日作成

2024年2月9日最終更新

コンクリートのひび割れ調査，補修・補強指針普及委員会

2022年6月に刊行いたしました「コンクリートのひび割れ調査，補修・補強指針 2022」に間違いがありましたので，下表の通り訂正いたします。ご購入いただいた方々や関係者の皆様には，ご迷惑をおかけしましたこと，深くお詫び申し上げます。

なお，正誤表は今後更新される場合がございます。最新のものは本学会ホームページに掲載しておりますので，ご確認をお願いいたします。

頁	行/他	誤	正
34	下から 7行目	あるいはPC鋼材の発錆である	あるいはPC鋼材の防錆である
38	解説図- 2.3.13	 <p>腐食度の段階：Ⅲ      腐食度の段階：Ⅳ (写真が入れ替わっている)</p>	 <p>腐食度の段階：Ⅲ      腐食度の段階：Ⅳ (正誤表のあとに拡大図を掲載)</p>
49	解説図- 3.3.1	<p>(一部抜粋)</p>  <p>下端を拘束された咬(咬厚 50 cm 以上) (標壁・カルパートなど)      縁端を拘束されたスラブ(ス ラブ)</p>	<p>(一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部拘束が主体となるひび割れ(貫通ひび割れ)</li> </ul>  <p>下端を拘束された咬(咬厚 50 cm 以上) (標壁・カルパートなど)      縁端を拘束されたスラブ(ス ラブ)</p>
65	下から 6 行目	c. 原因が不明な場合は 3.4 による.	削除
87	表-4.3.1	<p>(一部抜粋)</p> 	<p>(一部抜粋)</p> 
119	下から 3行目	腐食発錆限界塩化物イオン濃度	腐食発生限界塩化物イオン濃度
127	解説図- 6.3.10	(c) 吹付工法	(d) 吹付工法
172	解説表- 6.6.7	製品安全データシート (MSDS : Materials Safety Data Sheet)	安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)

173	下から 18行目	製品安全データシート (MSDS : Materials Safety Data Sheet)	安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)
197	上から 4 行目	短期で「小 (5年耐久性)」, 中期で「中 (20年耐久性)」である.	短期で「大 (5年耐久性)」, 中期で「大 (20年耐久性)」である.
197	上から 7- 8行目	「基本的には補修不要 (場合によっては補修必要, 定期的なひび割れ調査を実施)」	「補修必要」
197	上から 9 行目	しかし	なお
197	上から 12 行目	予防するために「補修必要」と判断し	予防するために
286	事例表- 23.1	ポラゾン	ポゾラン
328	事例表- 30.1	(幅員) 11.4~13.0 m	(幅員) 11.4~13.7 m
367	事例表- 37.1	(劣化深さ測定) 前面 前面 (5m ピッチ)	(劣化深さ測定) 全面 全面 (5m ピッチ)

### 訂正後の解説図-2.3.13 (一部)

※第1版で2022年12月中旬以降出荷のものについては、該当箇所を上から訂正シールを貼付しております。



腐食度の段階 : III



腐食度の段階 : IV